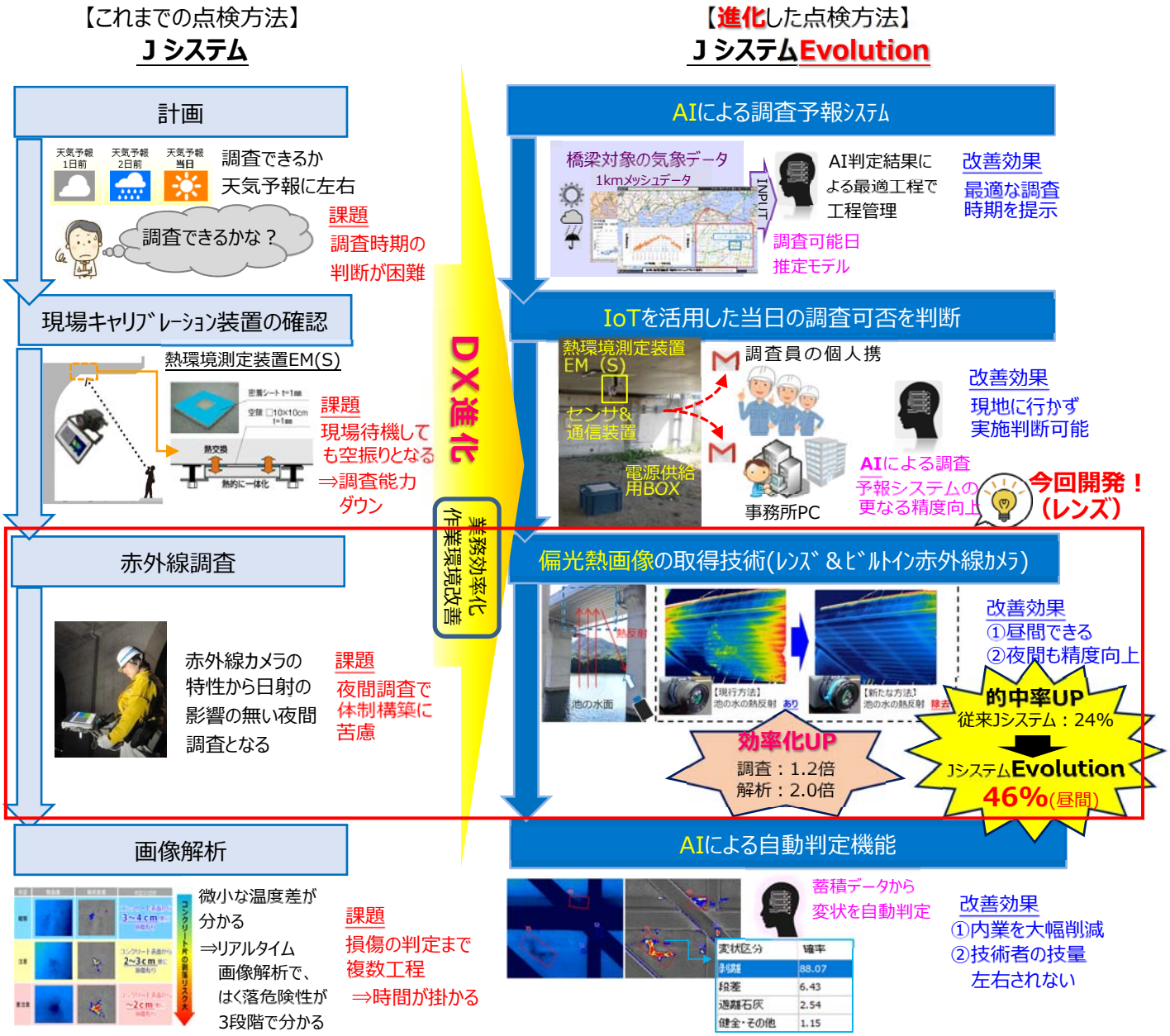
【参考資料2】「JシステムEvolution」とは～実現に向けて～



- これらの技術により、道路橋での活用を積極的に促進させるとともに、コンクリート吹付のり面や建築物などその他の構造物への適用拡大を図り、更にはあらゆる産業への展開を模索します。

※的中率とは、赤外線カメラによる点検の「打音検査の抽出」箇所数に占める、実構造物の「浮き・剥離」箇所数の割合をいう。